

研究主題設定の背景

【平成25年度第51回全国大会からの研究成果】

- 社会の形成者としての資質・能力の育成
社会の形成者としての資質や能力を目指す具体的な児童像を設定し、実践研究を積み上げてきた。
- 「ふかめる」段階を位置付けた学習過程の設定
学習過程に「ふかめる」段階を位置づけ、社会認識を深めたり、参画意識を高めたりする学習の在り方を明らかにしてきた。
- 「知識の構造図」による指導内容の明確化
社会認識を確実に獲得するために「知識の構造図」を作成して、実践研究を積み上げてきた。

【中教審答申の内容から】

- 資質・能力の柱としての「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の育成
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業改善(アクティブラーニング)

【改訂学習指導要領の記述から】

- 社会科の教科目標が改訂(小・中・高の接続)されたこと。
- 社会科で育成する資質・能力を明確にしたこと。
- 第3学年と第4学年の目標と内容の段階を明確にしたこと。
- 社会的事象の見方・考え方を働かせて資質・能力を育成すること。
- 内容の取扱いに社会の課題を把握し、解決に向けて学んだことを基に、社会への関わり方を選択・判断することへの配慮が明記されたこと。

【児童の実態から】

- 社会との関わりがもちにくい。
- 社会に対する興味・関心が低い。

【学力調査の結果から】

- 課題の解決策を具体的な取組やその効果まで取り上げて表現することは苦手。
- 実社会に参画する力の基礎を養う必要がある。

【教師の実態から】

- 若手教員が増加し、社会科の指導に苦手意識をもっている教員が少なくない。

研究主題

よりよい社会の形成に参画する資質・能力の基礎を培う社会科学習
～社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会認識を深める学習を通して～

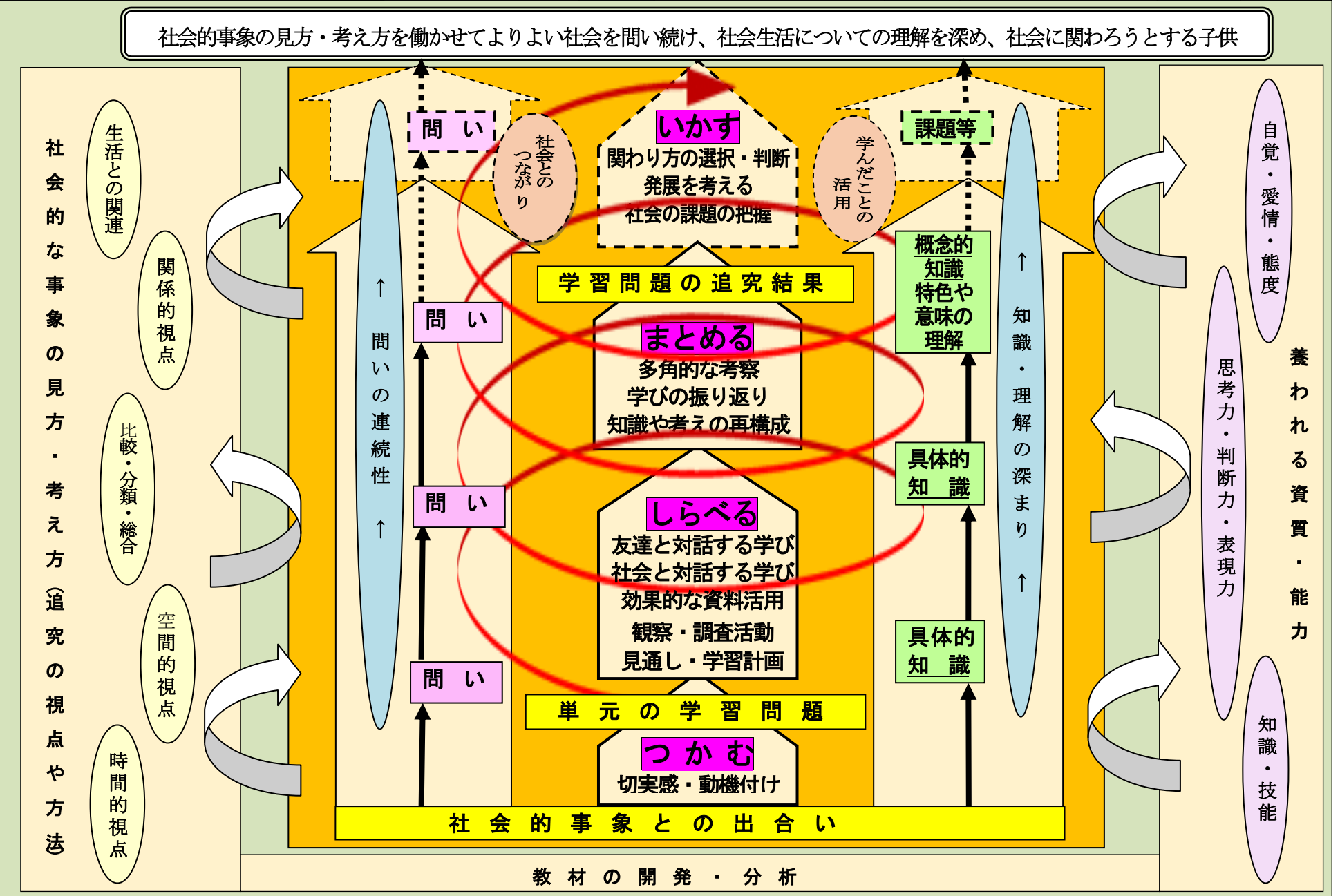
目指す児童像

目指す児童像	社会的事象の見方・考え方を働かせてよりよい社会を問い続け、社会生活についての理解を深め、社会に関わろうとする子供			
	3年生	4年生	5年生	6年生
個別の知識や技能	自分たちが暮らす地域について、見学・体験などを通して、事実をとらえ、様々な社会的事象を関連付けたり、様々な人の立場で考えたりして、自分たちの地域を好きになり、よりよい地域にしたいと願う子供	自分たちの生活が人々の働きによって成り立っていることや地域社会のよさを理解し、様々な立場から、よりよい地域社会にするために、共に何が出来るか関わり方を選択・判断するとともに、地域社会に対して愛情、地域社会の一員としての自覚をもつ子供	国土や産業の様子について、国民生活との関連を踏まえた確かな理解をもとに、社会に見られる課題を把握して多角的に考えながら、国土に対する愛情や産業の発展を願い、我が国の将来を担う国民としての自覚がもてる子供	社会(政治・歴史・世界)についての確かな理解をもとに、自分と社会とのつながりを見つめ、よりよい社会をつくらうとするための問いをもち多角的に考えようとする子供
思考力・判断力・表現力				
学びに向かう力・人間性				

仮説

子供の学びを支える3つの手立てを充実させることで、社会的事象の見方・考え方を働かせてよりよい社会を問い続け、社会生活についての理解を深め、社会に関わっていく子供を育成できるだろう。

問題解決的な学習を通して実現する主体的で対話的で深い学び



研究の重点内容

<p>【研究の内容(手立て)①】 社会生活についての理解を深め、社会との関わりを見つめ直す教材の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間的、空間的、相互関係的な視点から視野を広げる教材の開発 ○人間の働きに着目して人々と生活の関連に共感的に迫る教材の開発 ○社会の課題を意識して関わり方を見つめ直し、子供の学びが実社会とつながる教材の開発 ○社会的事象の見方・考え方(追究の視点や方法)を働かせる「教材の構造図」等の作成と活用 	<p>【研究の内容(手立て)②】 社会的事象の見方・考え方(追究の視点と方法)を働かせて追究する指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象の見方・考え方(追究の視点や方法)を生かした「問い」の設定 ○問題解決的な学習の展開に即した「問い」の構造化 ○学習問題の解決への見通しと学びの振り返りを重視して、社会生活についての理解を深める学習活動の工夫 ○問題解決の中で対話的に学び、多角的に考える学習活動の工夫 ○社会に見られる課題の解決について構想したり、自分の関わり方を選択・判断したりする場面の設定 	<p>【研究の内容(手立て)③】 児童に育成される資質・能力の評価方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「教材の構造図」を活用した具体的知識と概念的知識の評価方法の工夫 ○学びの過程(プロセス)や結果(パフォーマンス)に着目した思考力・判断力・表現力の評価方法の工夫 ○学習中や学習後の振り返りを通して社会に関わろうとする態度、自覚や愛情等の評価方法の工夫
---	--	---

学年研究主題

<p>3年部会研究主題 自分たちの地域を好きになりよりよい地域にしたいと願う子供の育成 ～自分と地域の人々とのかかわりをとらえ、考えを深める指導の工夫～</p>	<p>4年部会研究主題 よりよい地域社会について自ら考えようとする子供の育成 ～自分とのかかわりで地域社会をとらえ、互いに表現しながら考えを深める学習を通して～</p>	<p>5年部会研究主題 よりよい社会について考えようとする子供の育成 ～社会的事象の見方・考え方を働かせて国土や産業の姿を追究し我が国の将来を担う国民の一人としての考えを深める指導の工夫～</p>	<p>6年部会研究主題 よりよい社会をつくらうとする子供の育成 ～社会的事象の見方・考え方を働かせながら、自分と社会(政治・歴史・世界)とのつながりを見つめ、生活に生かそうとする子供を育てる授業の工夫～</p>
---	---	---	--